

**問 生活保護の公正な受給**

**答** 生活保護の実施機関は県。町は、生活保護申請時に行われる預貯金・年金・生命保険等資産調査、財産調査、扶養義務者照会調査等に協力し、民生委員の協力の下、現状把握等を行い制度の適正運用を行っています。

**問 三坂幼稚園及び差田保育所跡地を防災拠点・避難所に**

**答** 現在・三坂地区の広域避難地として町営差田グラウンドを指定し、防災倉庫に資機材や食糧等を備蓄、飲料水タンクも設置しています。当グラウンドは、立地条件に伴う利便性のほか、駐車場や臨時ヘリポート、仮設住宅用地としても十分なスペースが確保され、活用域が豊富、三坂幼稚園及び差田保育所跡地を防災拠点として整備することは、規模的に厳しいです。

**問 自主防災組織の再編（自主防災会長は区長とは別な人に）**

**答** 現在、各自主防災単位で防災委員（1人～2人）を委嘱しています。防災委員は、防災会長（区長）を補佐するほか、防災のエキスパートとして見識を高め、リーダーシップを発揮しながら長期的にその責務にあたることを目的としています。これは、防災会長が1～2年で交代するため、自主防の取組に継続性が保てないという課題を克服する措置であり、極めて重責を担うものです。

**問 防災倉庫の各地区の位置情報、用品内容の資料の配布**

**答** これまで、広報誌による防災特集や、区長会、防災委員研修会を通じ紹介しており、今後も地域防災訓練などの機会を捉え、定期的に情報発信します。

**問 防災対策をするのに民間との協定を**

**答** 民間では、マックスバリュ―東海、賀茂医師会及び静岡県プロパンガス協会などと協定を締結しています。今後は、セイジョーやコメリのほか宅配業者との協定締結に向け調整を進めています。

**問 町内放送の視聴同一化と今後の考え方は**

**答** 町が統合を事業として行う事は費用面で難しいです。共聴の関係で議会がNHKから説明を受ける予定です。

**問 政策的な経費の中で予算の修正権を**

**答** 議員各位が努力します。

**問 子浦の人形三番叟が有形文化財に指定されたが、町に文化財保護審議会が設置されていない理由と保護施設の建設は**

**答** 文化財審議会は昭和53年に設置され、4名の委員で構成されています。人形三番叟の保護施設は、公民館建て替えと合わせて検討します。

**問 町有地の有効利用 自然再生エネルギーを活用し財政に組み入れては**

**答** 2012年6月に静岡県のメガソーラー建設

に関する適地情報収集依頼に対して、吉祥町有地を候補地として回答し、数社の問い合わせがありました。今後、太陽光以外の再生エネルギーも含め検討します。

**問 光ファイバーの早期導入**

**答** 光ファイバー網整備は、億単位の事業費の一方多くの利用者が見込めず、毎年、数千万円単位の維持管理費もかかり、費用対効果の面から大変厳しい状況です。光ファイバー網は有益な社会的インフラの為、民間通信事業者に働きかけるとともに、国・県に対して、初期投資と維持管理費に対する財政支援を要望して行きます。

**問 海拔表示地図がお粗末すぎる**

**答** 東日本大震災による予想外の津波被害を受け、早急に実施可能な津波対策事業として海拔表示地図を作成しました。居住地周辺の海拔を認識することが安全な避難地の確認に繋がり、迅速な津波避難の重要性が再認識されたほか、何よりも防災意識の高揚が図られたものと認識しています。現在、海岸地区ごとの津波浸水域と避難地を表示した防災マップを作成し各世帯に配布することとしております。

また、町外者を視野に入れ、海岸区域に津波浸水域・避難路・避難地・避難ビル等を明示した津波避難案内看板を設置する予定です。

**問 財政の健全化を図るため100年の計を考え、お金を稼げる集団を構成してもらい**

**たい**

**答** 行政が行う代表的な収益事業には、競馬・競輪・競艇・オートレース・宝くじがあります。この他、宿泊施設等を運営している自治体がありますが、良好な経営状況を保ち、多額の利益をあげている事業は全国を探しても稀です。逆に赤字を計上し、その補てんのために多額の税金が投入されていることが大きな問題となっております。町では、民業圧迫を回避する観点からも、不慣れな収益事業に手を出さないことが現状では賢明であると判断しています。一方で、国債等による基金の運用や町有地の貸付等による安全・確実な資産運用には以前から着手しており、少額ですが運用益を決算に計上しています。

**問 社会福祉協議会施設整備の早期実現を**

**答** 平成20年10月に、武道館を一部改修し、社会福祉協議会に事務室・会議室を行政財産の使用許可の形で提供しています。改修からあまり年数が経過していないことなどから、当面は現施設で業務に取り組んでもらい、中長期的な計画の中で検討してまいります。

**問 避難所の設置は海岸近くに集中している。その他の地区は自主的活動に委ねられている。昭和49年の地震で大きな被害を受けた三坂・三浜地区では今回予想される巨大地震ではさらに大きな被害が予想される為、広域避難場所を居住地域に近い場所へ新たに設置する必要があるのではないか**